

## 社会的養護の子どもたちが 過去とつながる意義と課題

社会的養護の分野で子ども自身が自分のこれまでの生い立ちを信頼できる大人と一緒にふり返る「ライフストーリーワーク」への関心が高まってきています。過去からの継続性の実感は子どもの未来への着実な歩みにとって必要不可欠であり、子どもの自尊心やアイデンティティの礎になると言われています。社会的養護の元で育つ子どもは、しばしば過去との継続性が断たれています。したがって中途から養育を担う社会的養護の担い手や措置機関である児童相談所職員には、子どもの過去の情報把握やその共有のあり方を十分に検討し、生活のなかで具体化することが求められます。

本シンポジウムでは、こうした問題意識に基づき各お立場から、子どもが過去とつながる意義や課題、そしてその前提としての子どもに関する記録の持つ意味についてもご報告いただきます。

**日 時** 2014年3月22日(土) 14:00~16:30

**会 場** 日本女子大学目白キャンパス百年館低層棟 104 教室 (裏面参照)

**参加費** 無料 \* 直接会場にお越しください。

### ・シンポジスト

阿久津 美紀 (国立武蔵野学院 図書資料室)

川村 百合 (弁護士・ゆり綜合法律事務所)

徳永 祥子 (国立武蔵野学院・京都府立大学大学院)

山本 真知子 (日本女子大学大学院・日本学術振興会特別研究員)

### ・コーディネーター&シンポジスト

久保 樹里 (大阪市こども相談センター)



## 会場への行き方

日本女子大学目白キャンパス

百年館低層棟 104 教室（正門を入れて右手の建物）



## 交通機関

- ・ JR 山手線 「目白」 駅 徒歩：約 15 分
- ・ バス：約 5 分 （バス停の位置は上記所在地地図を参照）  
【都営バス（学 05）】 日本女子大学前行（直行）  
乗車 「目白駅前」：バス停（2） 下車 「日本女子大前」：バス停（4）  
【都営バス（白 61）】 新宿駅西口行き または ホテル椿山荘東京行き  
乗車 「目白駅前」：バス停（1）（3） 下車 「日本女子大前」：バス停（5）
- ・ 東京メトロ副都心線 「雑司が谷」 駅（3 番出口） 徒歩：約 8 分
- ・ 東京メトロ有楽町線 「護国寺」 駅（4 番出口） 徒歩：約 10 分